



証券コード：9326 株式会社関通

2024/7/12

2025年2月期 第1四半期 決算説明資料

2025年2月期 第1四半期 サマリー

■第1四半期 連結累計(前年同期比)

売上高 **+35.5%**

↳2023年12月設立子会社「関通ネクストロジ」を連結計上開始

経常利益**+8.9%**

↳関通ネクストロジは事業再生途上で赤字ながら親会社関通が利益牽引

↳関通ネクストロジは現在では単月黒字達成、通期黒字化体制構築済み

■第1四半期 連結累計(計画比)

売上高 **+0.2%**

↳計画通り推移

経常利益**+13.6%**

↳計画比+7百万円、計画通り推移

持株会社体制への移行

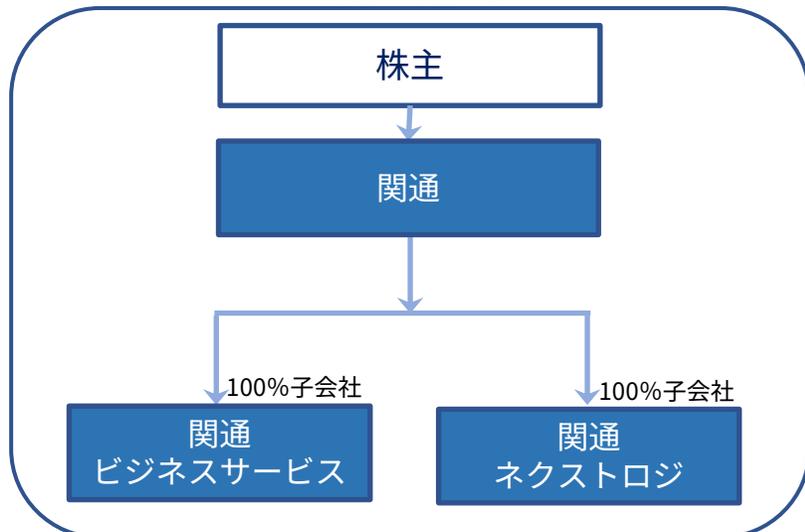
当社は昨今のあらゆる経営環境の変化に迅速に対応し、持続的な事業の成長を実現するための体制を模索してまいりました。

その結果、当社の主力事業である物流サービス事業を、新たに設立する当社の完全子会社へ会社分割により承継させることを決定致しました。

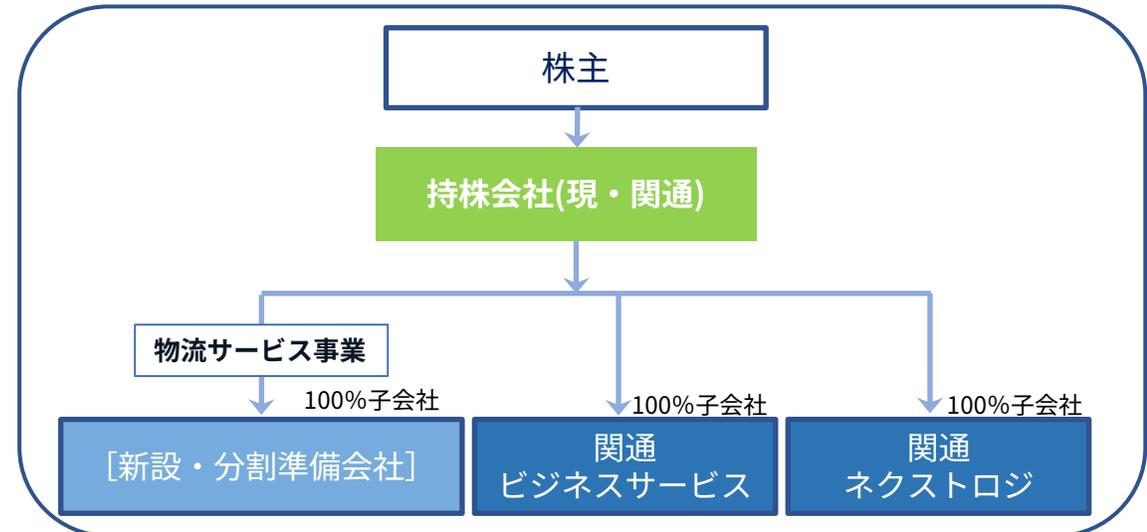
物流サービス事業において経営責任を明確にしつつ、さらなる成長を促すとともに、機動的な経営判断を可能とすることにより、事業環境の変化に柔軟に対応し事業の拡大を進めることを目的として、吸収分割により物流サービス事業を承継する予定です。

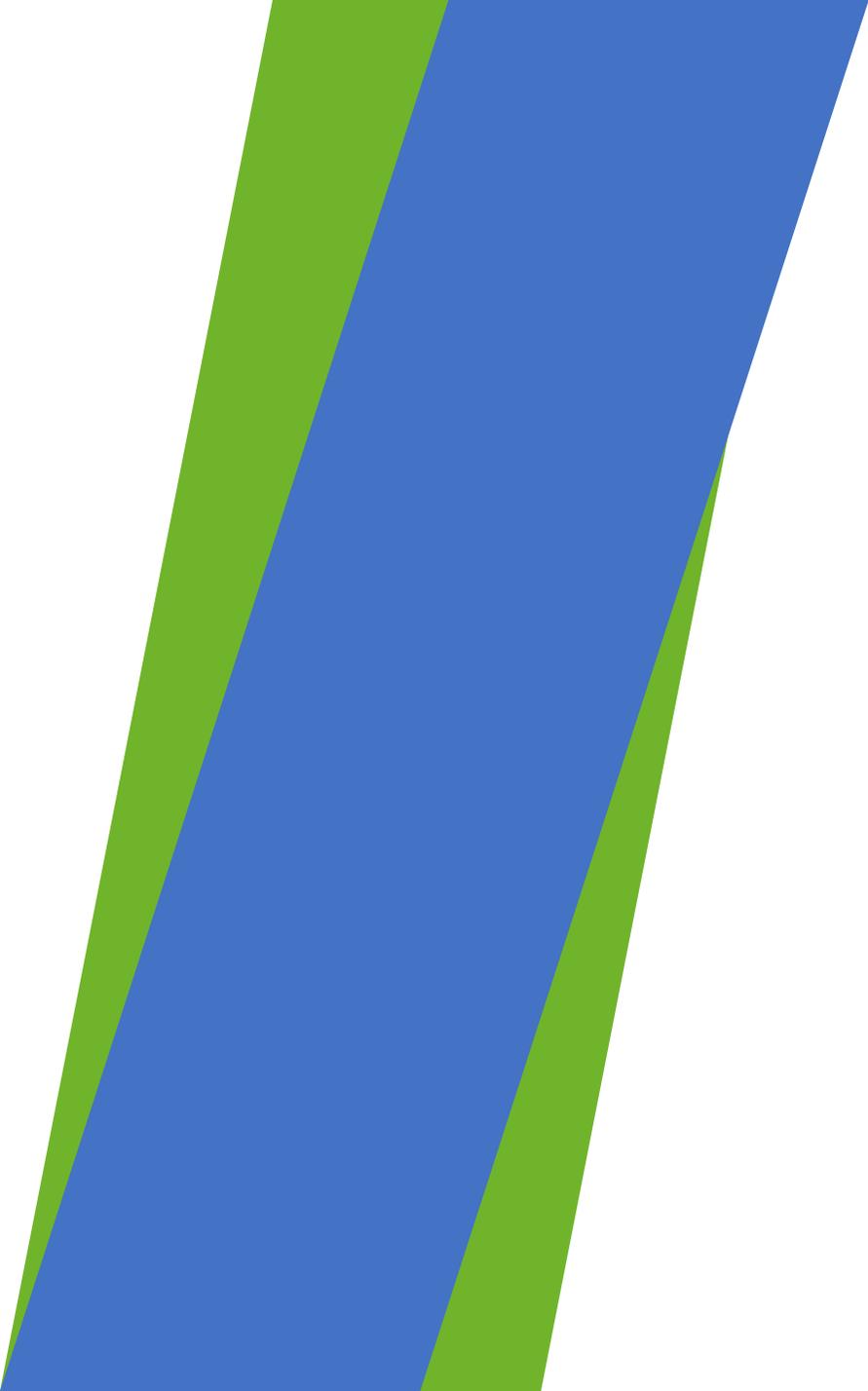
最終的に親会社は純粋持株会社となることを検討しており、今後の資本提携等を視野に入れた体制にもなります。

【現在の体制】



【2025年3月1日以降】





I. 前年同期比

【対前年同期比・連結】2025年2月期 第1四半期

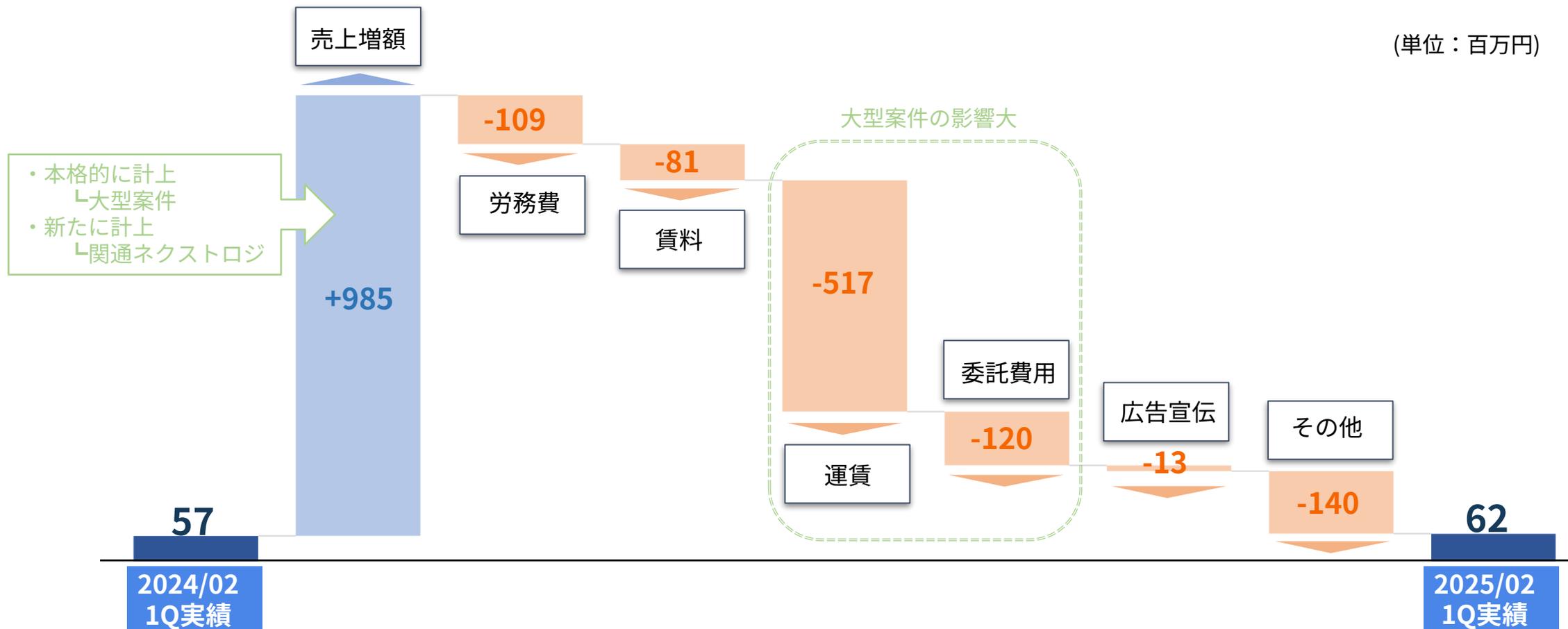
■子会社のネクストロジ分を計上開始、売上高は大幅増額
関通ネクストロジは事業再生の途上で営業利益マイナスだが、親会社関通が利益を牽引

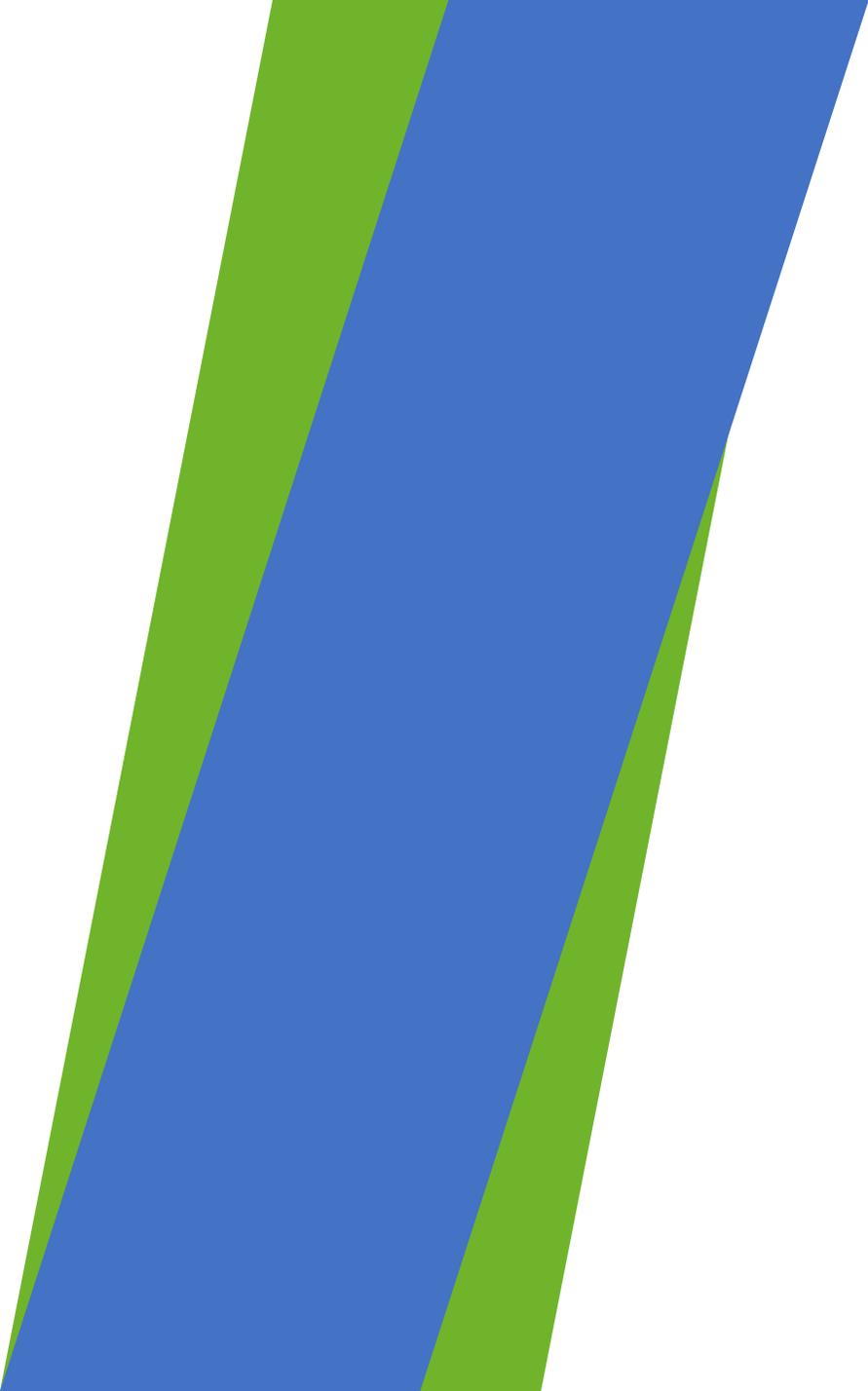
(単位：百万円)

	2024/2期 第1四半期 [実績・連結]	2025/2期 第1四半期 [実績・連結]	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	2,776	3,761	+985	+35.5
営業利益	60	78	+17	+29.8
経常利益	57	62	+5	+8.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	41	38	△3	△7.9

【対前年同期比・連結】 経常利益 増減分析

- 売上高は23年12月取引開始の大型案件が好調で増加要因、
加えて今四半期より関通ネクストロジも計上開始し、連結では前期比985百万円増
- 大型案件はBtoB中心の運賃ビジネスで利益率は高くなく、また関通ネクストロジも今四半期は再生途上
結果として前年同期比+5百万円で着地





II. 計畫比

【対計画比・連結】 2025年2月期 第1四半期

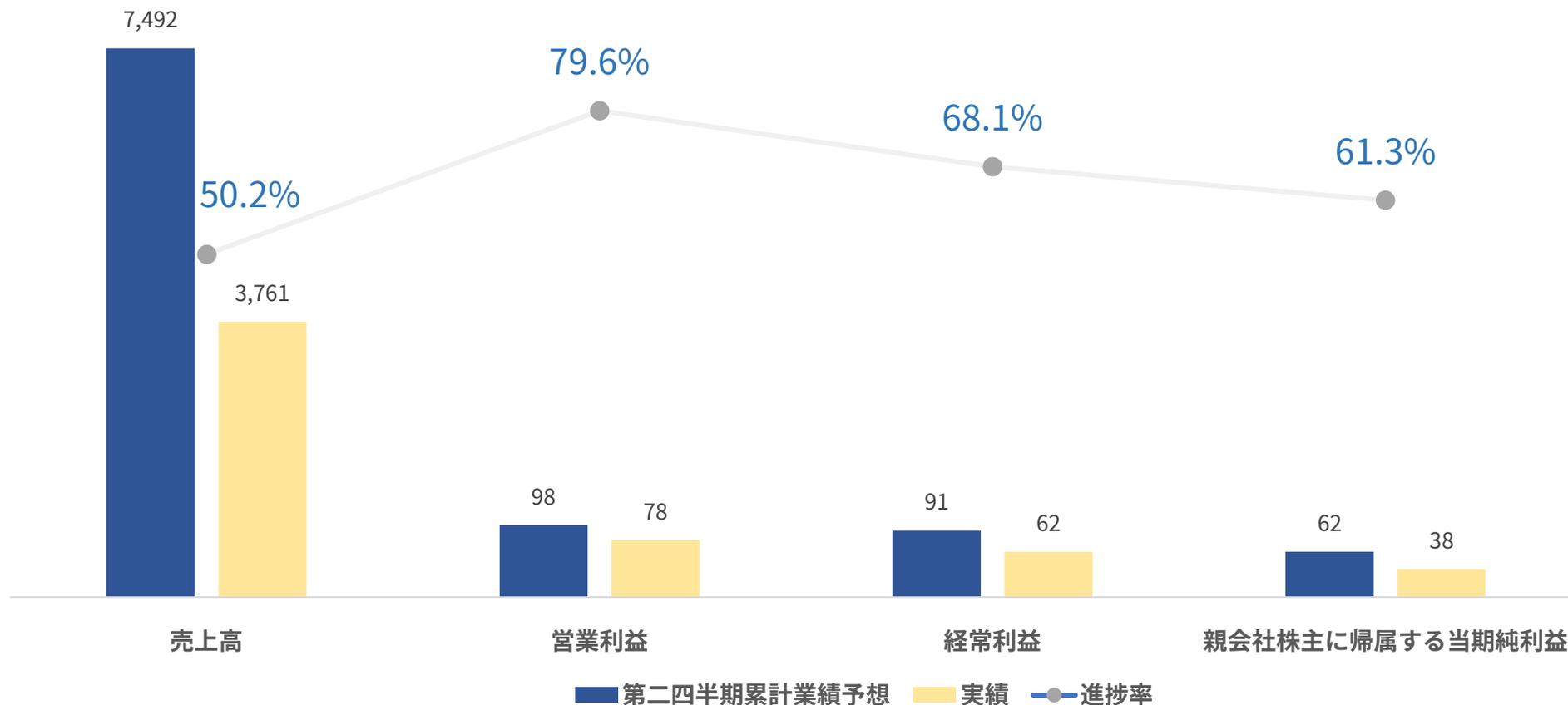
■売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益とも、
第1四半期は計画通りに推移

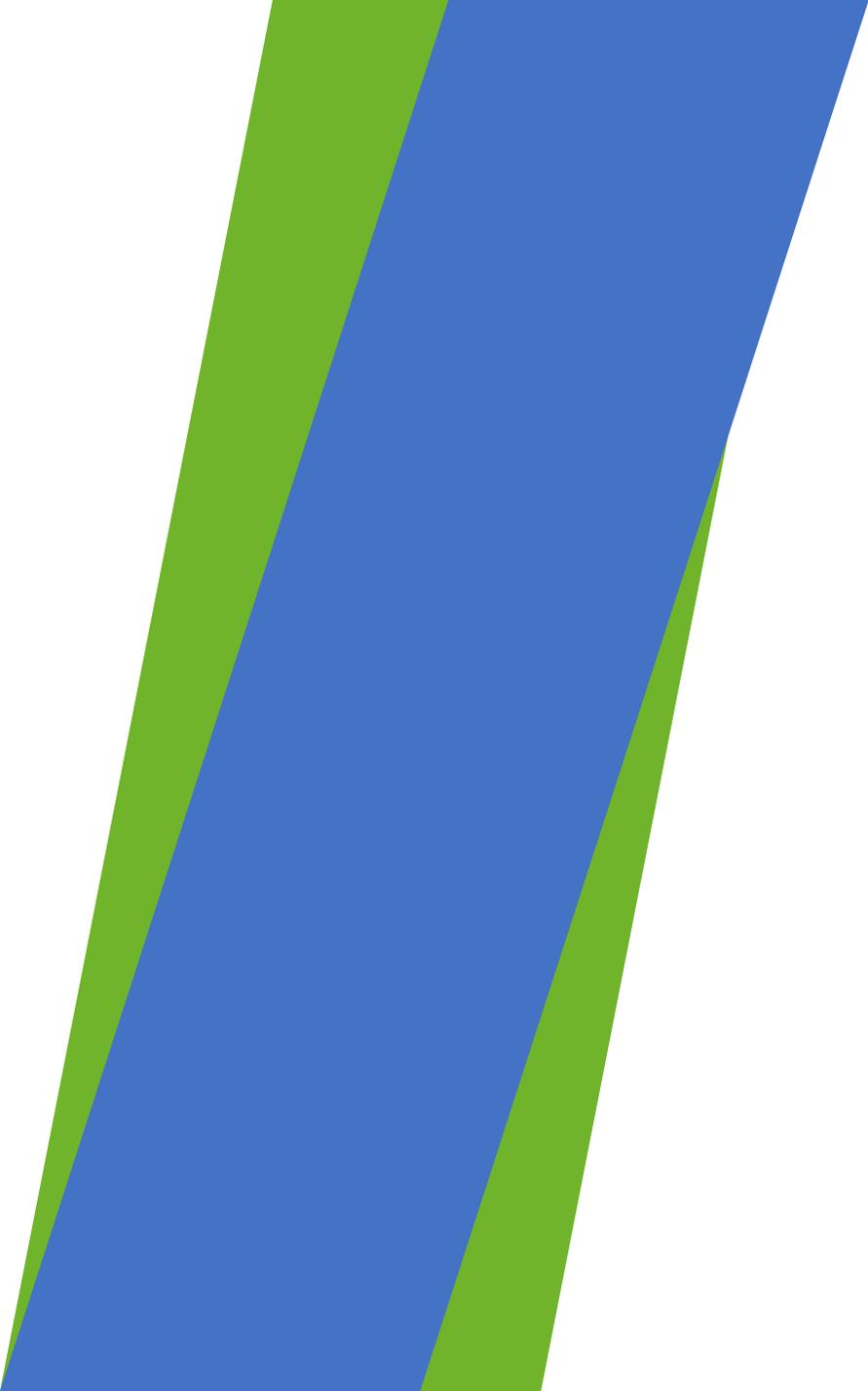
	2025/2期 第1四半期 [計画・連結]	2025/2期 第1四半期 [実績・連結]	計画比	
			増減額	増減率(%)
売上高	3,755	3,761	+5	+0.2
営業利益	59	78	+19	+32.8
経常利益	55	62	+7	+13.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	37	38	+0	+2.2

【中間の累計業績予想比進捗】第1四半期時点

■公表している第2四半期累計業績予想に対して、売上高は進捗率50.2%。
一方で営業利益は進捗率80%にせまり、経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益は60%台と、
計画に対して想定以上のペースで推移している。

(単位：百万円)





III. 四半期別

売上高・経常利益 四半期推移

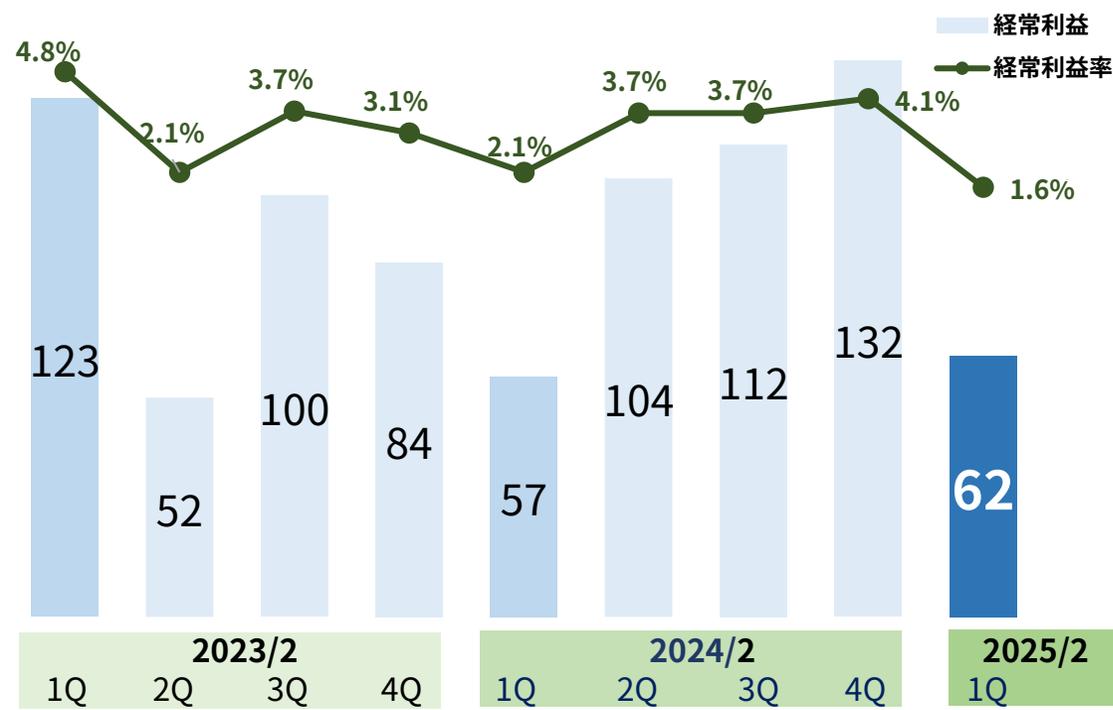
連結 四半期売上高

- 右肩上がり規模拡大中
- 前四半期比+504百万円(+15.4%)
 - ↳ 関通ネクストロジを新たに計上したことが最大要因
 - 一方、関通単体も前四半期比プラスで推移

連結 四半期経常利益

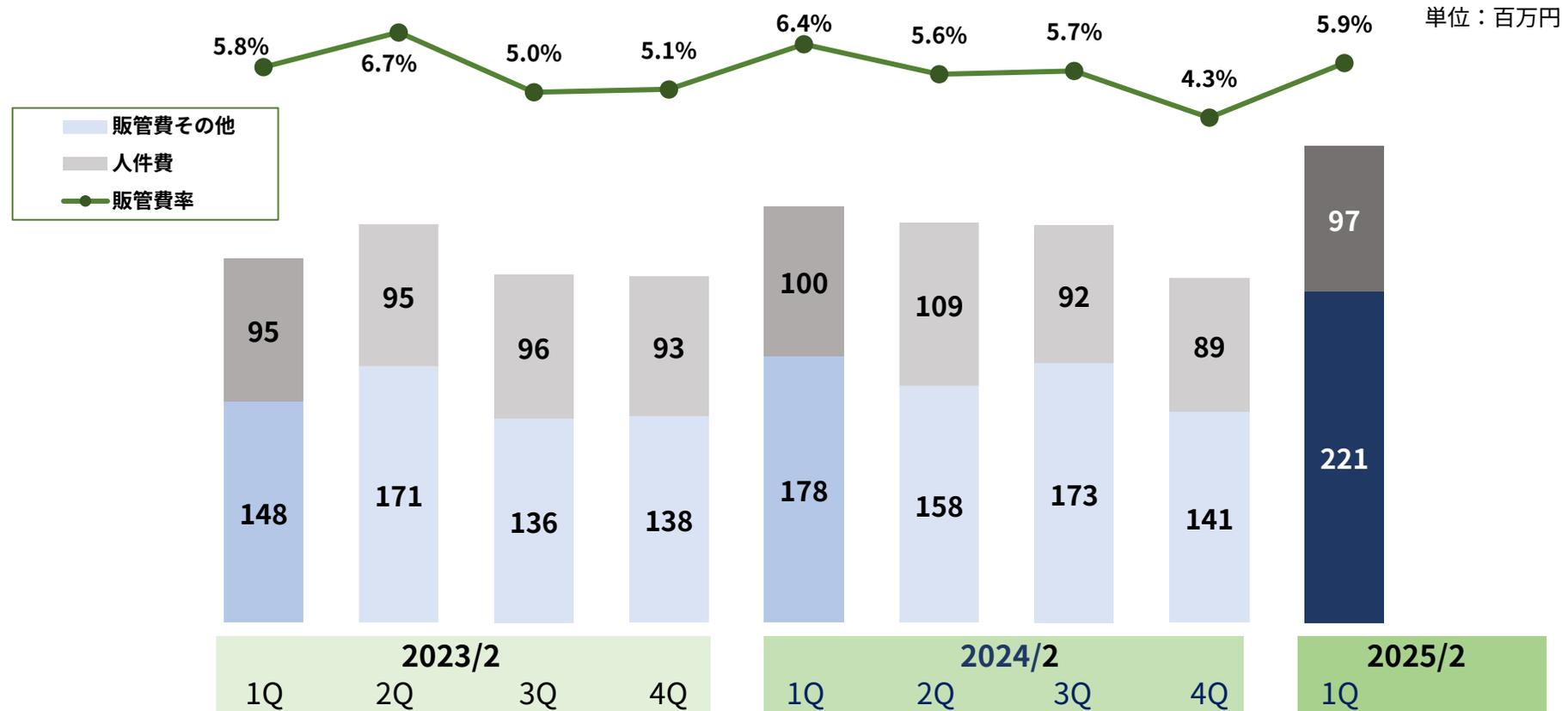
- 前年同期比で利益率△0.5ポイント
 - ↳ 関通ネクストロジが経常損失であることに起因
 - 関通単体は前年同期比20百万円プラス

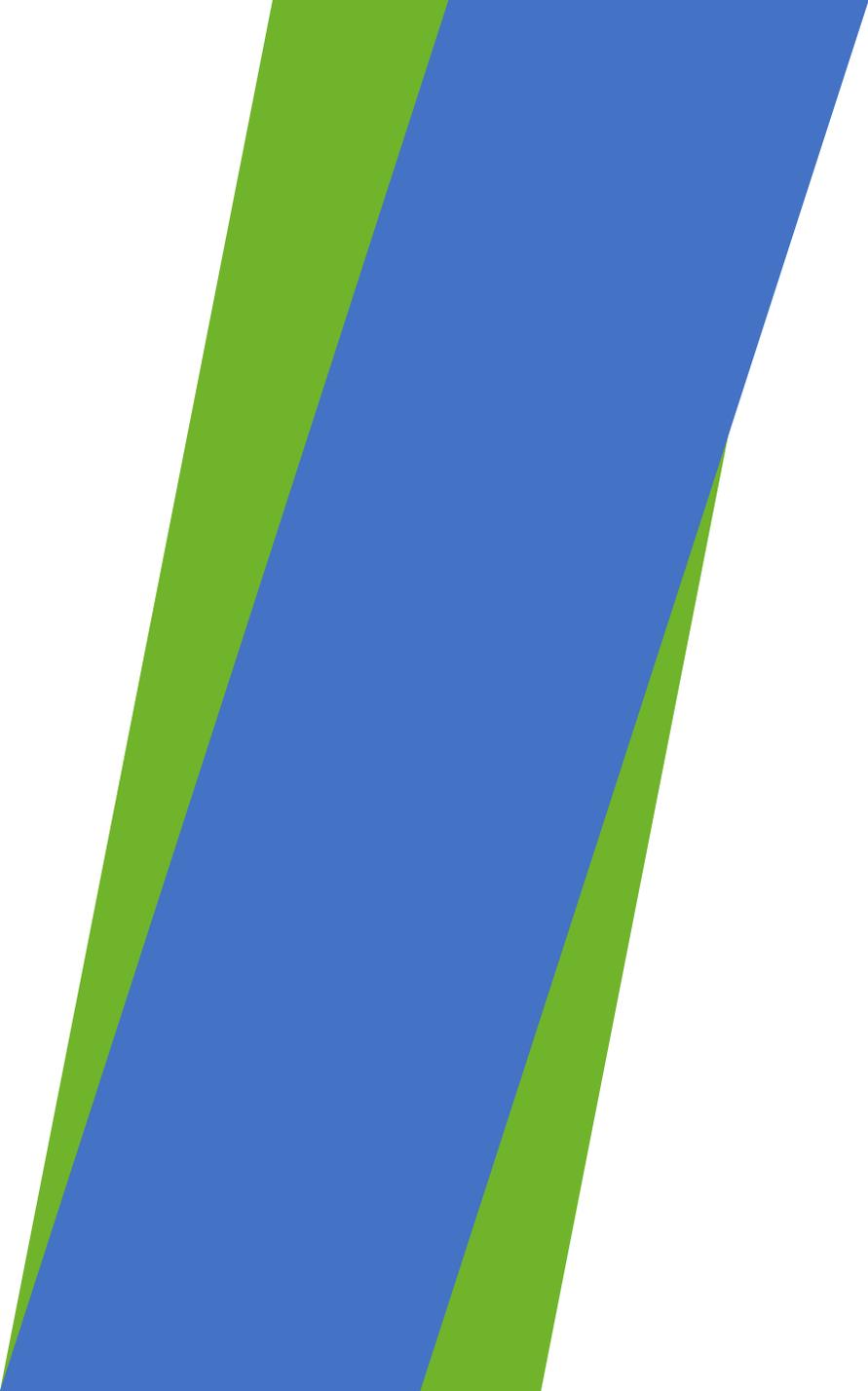
(単位：百万円)



販管費 四半期推移

■ 第1四半期より関通ネクストロジとの連結計上、事業再生の中でコスト削減を検討
 関通単体では展示会出展2回及びM&A関連費用が「販管費その他」を押し上げ
 また、今四半期より新たにネクストロジ取得時ののれん2.6百万円を計上





IV.セグメント別

【対前年同期比・連結】セグメント別

(単位：百万円)

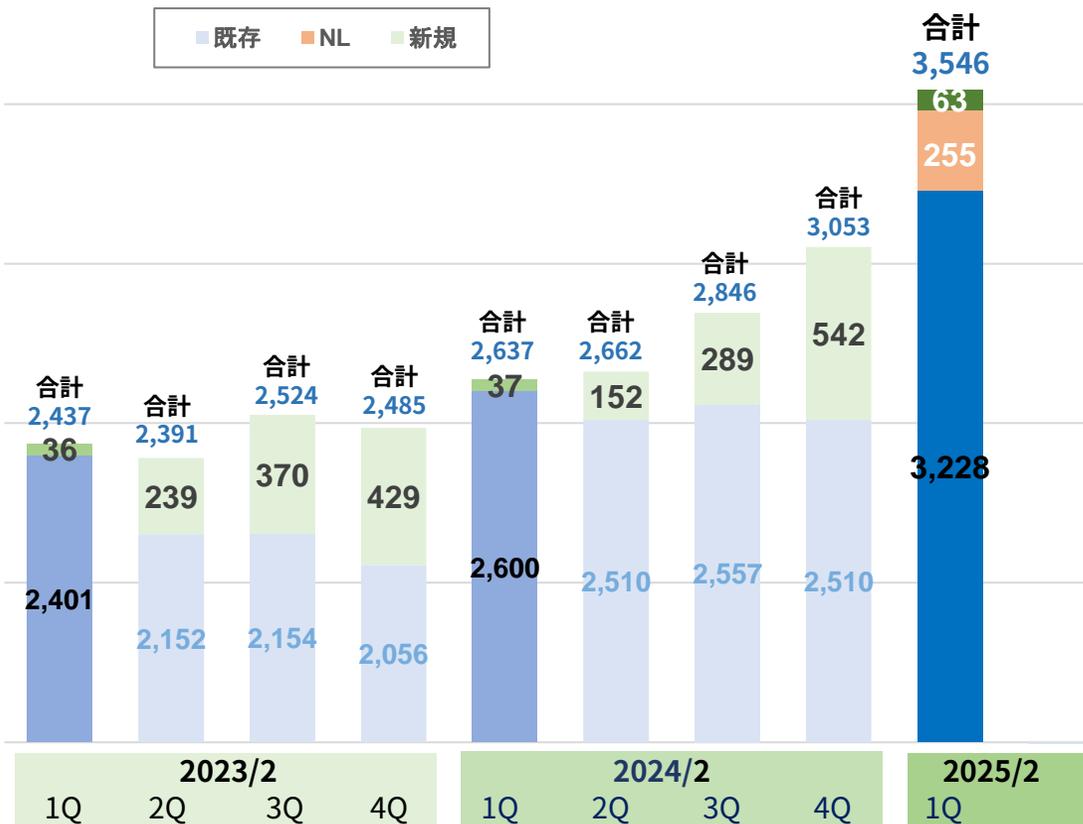
- 物流セグメントでは関通ネクストロジを新たに計上、利益はネクストロジ再生途上につき微減
- ITオートメーション事業では導入支援による「機器・導入・開発」売上高が向上

		2024/2期 第1四半期 [実績]	2025/2期 第1四半期 [実績]	前年同期比 増減率(%)
物流サービス事業	売上高	2,637	3,545	+34.4
	営業利益	21	15	△27.1
SaaS利用料	売上高	79	94	+18.9
機器・導入・開発	売上高	32	97	+203.1
ITオートメーション事業 合計	売上高	113	191	+68.5
	営業利益	39	72	+81.6

物流サービス事業売上高 四半期推移

物流サービス事業 四半期売上高

単位：百万円



第1四半期

■ 既存のお客様

NL(関通ネクストロジ)を除いても
23年11月開始の大型案件好影響
↓
前年同期比+628百万円(+24.1%)

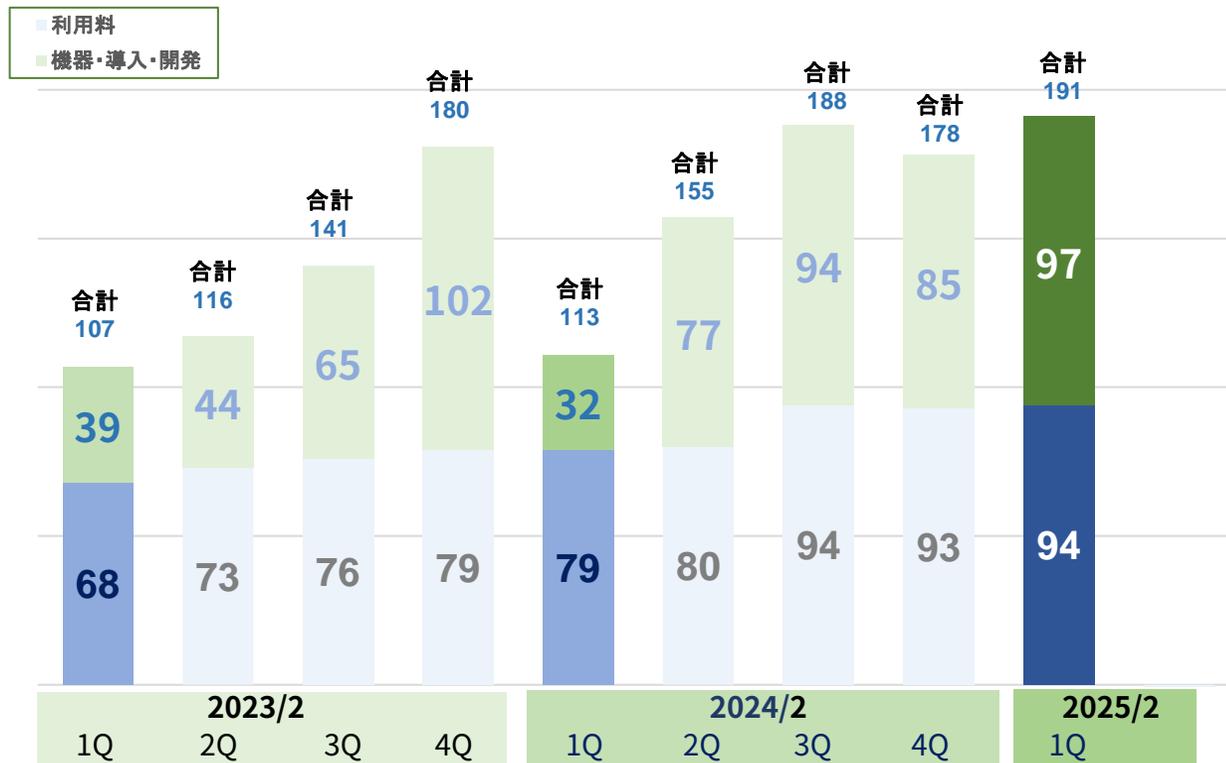
■ 新規のお客様

前年同期比+26百万円(+70%)
↓
スポット販売多く継続性は低い
下期に向けて案件交渉中

ITオートメーション事業売上高 四半期推移

ITオートメーション事業 四半期売上高

単位：百万円



第1四半期

■月額利用料

前年同期比+15百万円

↳前年、お客様規模拡大により設計・テストに時間がかかり、計上遅れ発生



今期は遅れを加味した計画
四半期単体、過去最高のセグメント売上

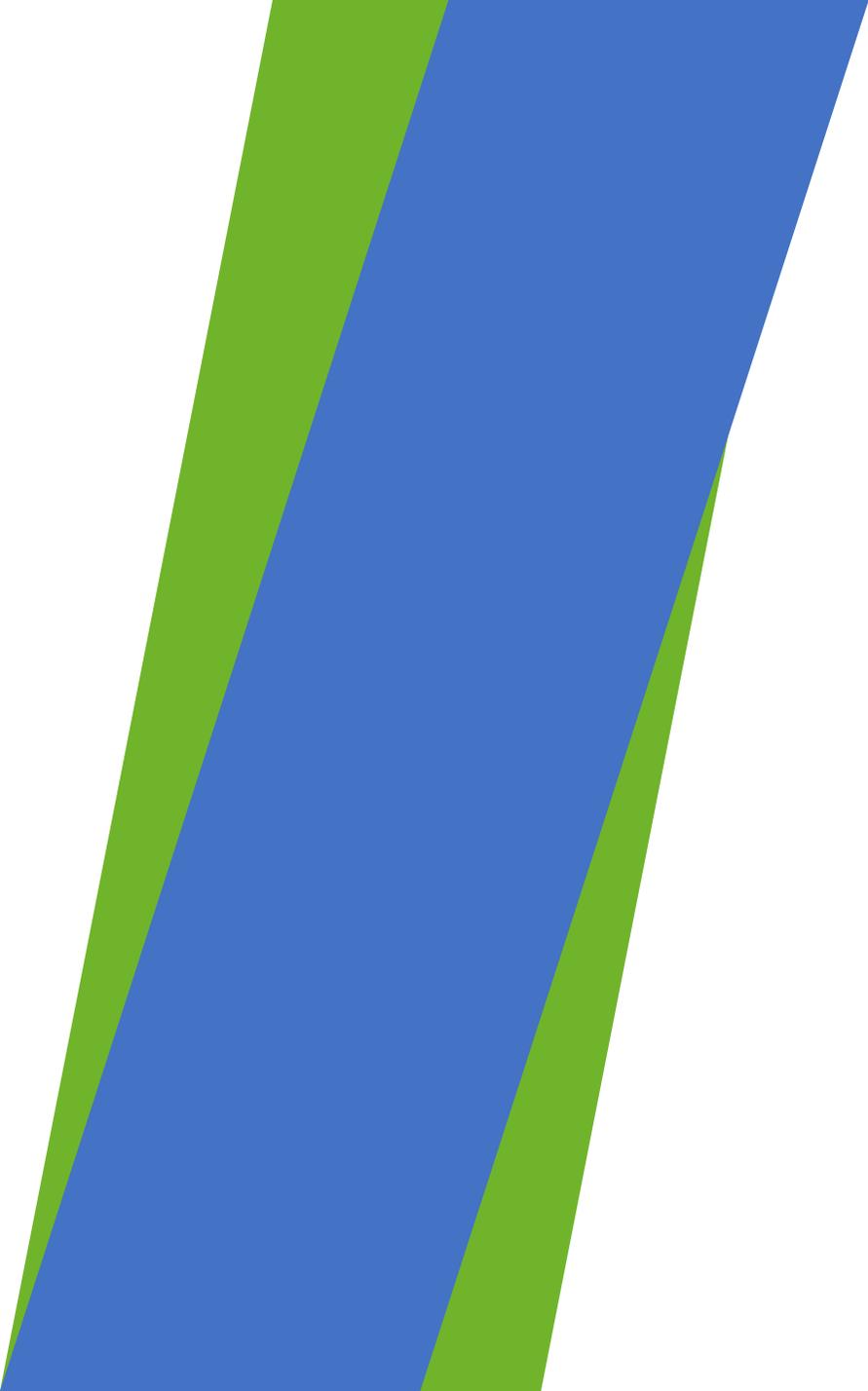
■機器・導入・開発

前年同期比+65百万円(+203.1%)



導入支援も順調

※一部、SaaS利用料と機器・導入・開発の数値修正により、前期開示の数値との明細差異が御座いますが事業合計金額に変更はございません



V . 2025年2月期 連結業績予想

【通期計画】 2025年2月期 連結

- 売上高は2023年12月設立の関通ネクストロジと連結になり15,000百万円を越える
開示していた中期経営計画の16,000百万円に近い数値を計画
- 内部体制を再構築する1年ではあるが、利益は下期に回復し前期比30%程度の増計画

(単位：百万円)

	2024/2期 通期累計 [実績]	2025/2期 通期累計 [計画]	前期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	11,938	15,871	+3,933	+32.9
営業利益	410	542	+132	+32.3
経常利益	406	522	+116	+28.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	49	352	+303	+609.8

免責事項

免責事項及び将来の見通しに関する注意事項

- 本資料において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載の内容に重要な変動が生じた場合は、本資料を更新・修正することがあります。



【お問合せ先】

株式会社関通 IR担当

お問合せについては、IR専用フォームをご利用ください。

URL : <https://www.kantsu.com/>

IR専用フォーム

